

地域の為のボランティア活動 その1 松林の保全に力を合わせてます！

地域のために活動するボランティアグループを紹介していきます。第一回は松林保全のボランティアグループです。また、中央区の西野さんから行政の関わりについて寄稿して頂きました。

15年以上前から、二葉町1丁目1区の方が、1人で西海岸公園の保全をしていました。だんだんメンバーが増え、今は6人で町内に面している松林の草刈りや雑木の手入れなどを行っています。活動は春から秋まで。原則、月・水・金の8時30分から11時までが活動時間です。代表はいますが、メンバー皆が代表という自発的な気持ちで集まっています。また、雨が降ったら中断する、暑い日は短い時間にするなど臨機応変に無理なく作業しています。モットーは「みんなで作る！」。

集合場所は二葉町1丁目1区と2区の間にある松林のトイレ付近です。

市の補助金で行う樹幹注入は、今年で3年目。令和4年3月は10本、令和5年2月は19本、令和6年2月は19本の薬剤を購入。大木で元気な松に薬剤を注入し、マツクイムシ被害の予防をしています。

附属小学校も取り組んでいます「母の森に木を植えよう！」附属小学校の5年2組の児童と植

樹をしました。総合学習の学びから「環境をよくすると、生き物が住みやすくなる」と考えた5年生は、学校近くの松林の環境のためにゴミ拾いをしました。「母の森をずっと守りたい、松の苗を植えることはできないか？」と市に相談し、植樹が実現しました。

二葉町1丁目1区の松林保全ボランティアの方は「小学生が松を植えるという願いが叶った。大人になった時に、思い出してほしい。この子たちにとって記念になる。」と話していました。



ボランティアの皆さん

特に冬季の強風や飛砂から私たちの生活を守るクロマツ林

中央区建設課主査 西野 廣貴



私は、令和元年度から浜浦小学校区において、地域と協働で海岸林づくりに携わり、ここ数年は総合学習での講師も務めています。

近年、新潟島沿岸では、マツ枯れによる被害が広く発生しています。マツ枯れ被害を受けたマツは再生しないため、伐倒し、被害が拡大しないよう燻蒸処理を行い現場に残置しています。

今年度は、新潟地区コミュニティ協議会のクロマツ植樹にも携わらせてもらっており、役員

さんの熱意に触発され、協働をテーマに附属小学校や青陵大学も参加し、NSG美術館から海寄りのエリアに3日間で、松くい虫に抵抗性のあるクロマツ苗を1,100本植樹することが出来ました。(内100本は新潟ロイヤルライオンズクラブの寄附) 今後も植樹は続く予定ですが、植樹したクロマツの維持管理や、海が見える気持ちの良いロケーションでの過ごし方についても皆さんで検討していけたらと思っています。

●●● 松林豆知識 ●●●

地域の松林を守るために、松林の歴史や、直面している問題について、調べてみました。
西海岸公園の松林って古いの？

新潟は昔から砂の被害に苦しんでいました。風が吹くと砂が舞い、畑の作物や家に砂が飛んできました。竹やヨシで編んだすだてを砂浜に立てて人工的に砂丘を作ったことで、風を弱め、砂の飛散は減りました。また、砂丘の後ろにグミの木や冬でも葉が落ちないクロマツを植え、風と砂の被害を減らす防砂林にしました。

江戸時代、天保14年(1843)に新潟奉行となった川村修就は海岸の木を切ることを禁止し、6年間で3万本の松を植えました。嘉永4年(1851)には新潟の海岸全域に防砂林が完成します。

明治になると、新潟の町の人口が増え、住宅や学校、病院の用地として多くの防砂林が切られました。砂の被害がまた大きくなった新潟市の湊小学校では、先生・児童・卒業生がお金を出し合って500本の松の苗を植えました。これがきっかけとなり、松植えは新潟市内の小学生

の活動に広がり、明治44年には小学生が植えた松は全部で1万本になりました。

マツクイムシって？

今、西海岸公園の松がマツクイムシの被害で枯れています。マツクイムシの被害は「マツノザイセンチュウ」という体長1mmにも満たない線虫が松の樹体内に入ることによって起こります。その線虫を松から松へ運ぶのが「マツノマダラカミキリ」というカミキリ虫です。

対策はしているの？

マツクイムシの被害を防ぐために春は薬剤散布、冬は薬剤を松に注入する作業(樹幹注入)を行っています。また、新しく防砂林を作るため植樹も行っています。新潟コミュニティ協議会も樹幹注入や植樹に関わっています。

(参考：林野庁・新潟県各ホームページ)



ポンチで穴あけ 力が必要です ドリルで穴あけ

新潟まつりを楽しもう！

新潟小学校・寄居中学校など、地元の子も達も関わる、新潟まつりですが、さてその歴史となると？ 今年の夏は新潟まつりの歴史を知って、おまつり博士になりませんか？

新潟まつりの起源は、享保11年(1726年)から続く、湊町新潟の発展と繁栄を願う住吉祭です。この住吉祭に、昭和30年、明治以降に始まった開港記念祭・川開き・商工祭の3つのおまつりが統合され、現在の原型となりました。

今は民謡流し、住吉行列、御神輿、花火大会が行われており、地元の人はもちろん観光に来た方も楽しめるおまつりです。

濃川を東から西へ渡る水上渡御で湊の安全を願います。

開港祭 安政条約による5港の一つとして明治元年11月19日に新潟港が開港しました。昭和5年には開港60周年の記念式典が行われ、以後その開港の日を開港祭として、資料展や物産展など多彩な催しが開催されました。

川開き 明治41年に新潟は2度にわたって大火に見舞われました。1日も早い復興を願って、明治42年9月10日11日に第一回川開きが開催され、萬代橋下流の中洲で花火が打ち上げられました。明治43年には「新潟川開き協賛会」が結成されました。事務局は古町5番町のはり糸さんだったそうです。これが川開きの起源とされています。

商工祭 昭和4年秋、商業振興を目的とした広告パレードを開始したのが始まりです。戦後は各企業の趣向を凝らした山車が連なり、古町芸妓も繰出で華やかさを競っていました。

住吉祭 湊元神社の祭礼「湊祭」が起源とされています。延宝8年(1680)6月、新潟の廻船問屋「網干屋」広嶋治兵衛が大阪の住吉神社から御神体を受けて建立された神社で、享保11年(1726)に行列を組むまつり住吉祭が行われました。現在の住吉行列では、お神輿が信



大正時代の住吉まつり

行列は5キロにも及んだそうです。(参考資料：市報新潟・新潟市史・新潟まつり実行委員会、新潟商工会議所制作の動画等。写真提供：新潟ハイカラ文庫)

新しい百老組の紹介

百老組は、大人も子どもも世代を超えて組織され、新潟まつり・住吉行列に参加しています。住吉行列の参加形態は、本供奉と供奉があり、百老組(新潟小学校・寄居中学校区)と八番組(白山小学校・白新中学校区)が2年交代で行っています。子どもたちが大きくなって地元を離れても、地元のことを思い、住吉行列に参加するために帰ることができる場になれば、と考えています。

百老組は水野前委員長の退任により、委員

長をはじめ、組織を一新することとなりました。新しい百老組の役員をご紹介します。

- 委員長 石黒一徳
副委員長 鈴木政二三、石田直樹、廣嶋隆明
事務局 上原由成
会計 渡邊博幸



「地域のつながり、人と人とのつながりを大切にする」ことを目指して

百老組委員長 石黒 一徳

2026年(令和8年)、行列を組む祭りとなった住吉祭が300周年を迎えます。

百老組では、地域愛や遠く離れてもふるさとのことを思う気持ちを育てたいと考えて、この伝統あるお祭りに戦後間もないころから、新潟小学校、寄居中学校と共に参加してきましたが、コロナ禍を経て、新たな体制で再出発することとなりました。

新潟小学校、寄居中学校も、これまでのように快く協力していただけたのですが、コロナ禍による中断の影響や、学校における働き方改革、部活動指導者の外部人材の活用など、様々な環境の変化も生じています。

また、百老組には、笛太鼓を奏でることができる人材がいまないので、出費を伴いますが外部の方にお願いせざるを得ません。参加してくれる子どもたちも、お土産を楽しみにしていますし、法被の更新やクリーニングを始めとして、用具の修繕等も必要となります。さらには、暑さ対策等々、毎年の経費も相当な金額になりそうです。

それでも私たちは、「地域のつながり、人と人とのつながりを大切にする」ことを目指して、百老組の取り組みを再開することとしました。

2024年は半日の供奉、2025年と2026年は2日間の本供奉を予定していて、2026年(令和8年)には、300周年を迎えます。地域の皆様から支えていただき、子どもたちと共にこの300周年をお祝いしたいと思います。

このため、百老組では、各自治会・町内会様や個人様、企業様からの寄付を募りたいと考えています。別途、案内等をさせていただきますので、その際には、ご協力いただければ幸いです。活動に伴う収支決算などについては、百老組の総会などを通じて、ご報告させていただきますと思います。

今は、先行きが不透明な時代ですが、このようにときにこそ、「支えあい、助け合い」ながら前に進んでいくことが大切かと思えます。百老組の活動がその一助となることを願っています。



この道具を先頭に、百老組の行列は進みます。

お知らせ

・緊急キット（緊急情報シートが入った筒）を当コミュニティ協議会と社会福祉協議会が共同で準備しています。救急隊が迅速に病院や緊急連絡先の情報を知ることが目的です。申し込みがあったところから順次、配布予定です。

・車椅子お貸しします。新潟コミュニティ協議会に車椅子が20台あります。必要な方はコミュニティ協議会までご連絡ください。

こんなことをやりました



10月からの活動報告

10月14日(土) 二葉町1丁目1区のボランティアさんを中心に松の苗木を移植。

11月5日(日) 自主防災

11月9日(木) 附属新潟小学校5年2組「母の森に木を植えよう！」



11月16日(木) ルフル広場と西堀ローサで国と共同で実施する弾道ミサイルを想定した住民避難訓練



世代間交流事業(小中学生と地域住民の交流)

12月23日(土) 寄居中学校 吹奏楽部クリスマスコンサート：寄居中学校ランチルーム



2月6日(火) 新潟小学校・白山小学校 古町合同発表会：寄居コミュニティハウス



健幸サロンクラブ（高齢者の健康維持）

10月29日(日) ピップモンスターのステージ。近さんのハーモニカ演奏もありました。



11月16日(日) 古町芸妓の三味線と踊りと昭和初期から30年代に古町芸妓さんが着ていた着物展示。



12月10日(日) ウェスタンバンド「5スプリングス」演奏会。

1月20日(日) 新潟大学落語研究部の落語公演。出演「柳風」「虹鼓」「出雲」



2月25日(日) バンド演奏～愉快的仲間～「ラビアンローズ」のシャンソンと「ホンキートンク・ブルースブラザーズ」のステージ。



3月14日(木) お琴演奏

地域のために尽力された方々の紹介

令和5年度中央区地域活動功労者表彰式で表彰

20年表彰 西堀前六町内会 豊田鐵博さん
古町六番町自治会 本間龍夫さん

10年表彰 東大畑一番町自治会 梶原聰さん

秋の叙勲受章者（地方行政功労者）
旭日双光章 榎口敏行さん

おめでとうございます。

.....

編集後記

元日に地震がありました。日頃から隣近所の人と顔見知りになっておくことは、お互いの身を守ることにもつながります。ほんの少しのおせっかいをしたり、されたりして、ゆるくつながってみませんか？